

## IT推進委員会

委員 北條 正 (甲斐RC)



## はじめに

IT推進委員としてコラムに投稿する順番がまわってきました。ここでは社会情勢や深い技術的なお話については、コンピュータソフト開発関連の専門家である他の委員の皆さんにお任せすることに致します。私にできることは、パソコンユーザーとしての立場から、できるだけITに関係した内容で自分の経験・感想などを書いてみることでと考えています。

現在、国際ロータリー第2620地区では、すべてのRCへ地区からの貸与を含めてパソコンが設置され、いよいよ地区として様々な面でIT利用を推進していくところまでこぎつけました。

そこで、これからパソコンをどんどん活用していきたい、あるいは、初めてパソコンを役立たせていこうと準備している、といったRCの方々を主な対象として書いていこうと思います。したがって、「そんなことは知っているよ。」「もうすでに実行している。」といったRCの方々も多いかと思いますが、その点をご容赦願います。

## 1. 迷惑メール対策

まず、IT利用で何よりも活用頻度が高いのは電子メールでしょう。ただ、この便利なツールにも問題があります。毎日様々な業界（アダルト系含む）から勝手に多数の営業メールが送りつけられ、必要なメールが埋もれてしまう、といった迷惑メール問題です。

対策としては、市販ソフトを購入して排除するという方法もありますが、最も手っ取り早いのは自分が接続しているプロバイダーの「迷惑メール隔離（ブロック）サービス」を利用することです。

例えば、OCN（NTTコミュニケーションズ）ではホームページから申し込んで、月額200～300円で利用できます。隔離されたメールはWeb上で一覧にして確認でき、万一必要なメールも排除されてしまった場合は、簡単なクリック操作で自分へ再送できます。自分が契約しているプロバイダーのホームページで、サービスを確認して利用してみてください。もし、迷惑メール対応のサービスが無い場合は、プロバイダー変更も検討してみてもはいかがでしょうか。

## 2. コンピュータウイルス・スパイウェア対策

インターネットを活用する上で最も問題なのが、パソコンの動きを妨げたり、パソコン内のデータを破壊したり、情報を盗んだりするコンピュータウイルスやスパイウェアの存在でしょう。

メールに添付されてくるウイルスに関しては、プロバイダーのメールチェックサービスを月額200円ほどで利用すると排除できます。しかし今では、メールに添付されるだけでなく、ホームページに接続しただけで感染することがあります。もちろん、よそから持ち込まれたCD-ROMやフロッピーディスク（FD）などに入り込んでいれば被害を受けます。持ち込んだ人も気づいていないのでやっかいです。

ですから、残念ながら今は「ウイルス駆除ソフト」は必需品といえるでしょう。一般的によく知られているのが、マイクロトレンド社のウイルスバスター、シマンテック社のノートンアンチウイルスの両者です。

通常、ウイルス駆除ソフトは、購入後一年ごとに何千円かの料金を払って使用权を更新しながら使っていくというシステムです。ウイルスは常に新しく生み出されているので、重要なのは、ソフトメーカーより提供される最新のウイルス定義データベースを、常にダウンロードし

て更新しておくことです。それによって、出回っているウイルスを洩れなく検知し、排除できるようになります。このデータベースは、ネットに接続するとソフトが自動的にダウンロードしてくれますが、自分でも手動で更新できます。

また最近、更新料がかからないウイルス駆除ソフトも出てきましたが、前出の有名ソフトと比べてどのくらいの実力なのかはまだ未知数です。さらにダウンロードや更新料が無料で、まったく費用がかからないソフトもあります。

どのようなソフトが良いかは、専門家に相談してみてください。

### 3. データ・ファイルの整理・保管

パソコンの活用が進んでくると、自分たちが作成したデータや他所からやってきたデータなどがどんどん蓄積されてきます。近頃、パソコンの内蔵ハードディスク容量は非常に大きくなってきており、動画のような大きなデータでなければいくらかでも放り込んで置けます。しかし、いくら紙のようにかさ張らないデジタルデータとはいえ、何でもかんでもパソコン内のハードディスクへ入れてしまうと、やはり何がどこにあるのか探しにくくなり、再利用もままならなくなってしまいます。

さらに何より避けたいのは、ハードディスクのソフト的・ハード的トラブルにより大切なデータ・ファイルが破損・消失してしまうことです。ハードディスクを取替えば、使用しているソフトはいくらでもインストールし直せますが、せっかくそれまでに蓄積されたデータ・ファイルは二度と戻ってこないのが大変なことになります。

そこで、ハードディスクはデータ・ファイルの作成・再利用の作業場として利用し、できたデータ・ファイルは取り出せるディスクに入れて利用分野・用途ごとに整理・保管しておくのが実用的だと思います。

よく使われているのが、安価なフロッピーディスク（FD）やCD-Rなどですが、FDは容量が1.44MBと小さすぎ、CD-Rはデータの書き換えができません。また、最近使われるようになってきたDVDは、通常のデータ・ファイルを入れておくだけには容量が大きすぎてコストもかかります。

そのような点からお勧めなのがMOディスク（Magneto Optical Disk：光磁気ディスク）です。外見は厚めのFDといったところで、映画「ミッション・インポッシブル」でトム・クルーズとジャン・レノが奪い合っていたのも確かこのディスクだったと思います。容量は1.3GBまでありますが、640MBのディスクであれば写真保存媒体などにも充分利用できます。ドライブは、外付けUSB接続で電源をパソコン本体から取るタイプ（640MB対応）が、コンパクトなうえUSBポートへ差し込むだけで使用でき便利です。価格も1万円台で購入できるのでお手ごろだと思います。ディスクの価格も容量に対して手ごろで使い勝手はまったくFDと同じです。書き換え自由、ほこり・衝撃・磁気などに強く50年間保存可能といわれています。



MOディスク

### おわりに

最初に述べましたように、いよいよ地区の全RCへパソコンの設置が完了いたしました。その目的は、IT利用によってRC活動を効率化することにあります。パソコンはそのために使いこなすべき道具にすぎません。

ただ、道具をどのようにうまく使いこなせるかということは、目的達成を左右する大きな要素だと思います。特に、今回新たにパソコンを導入されたクラブの方々に、このコラムが少しでもお役に立てれば幸いです。